

広報

おおの

平成元年(1989年)

10月号
No.529



「明治公園」遊具コーナーで

人生80年時代に学び続ける喜び 大野での「生涯学習」の在り方と課題を語る



今年6年目を迎えた「市民大学」。150人余りの方が参加しています。

いつも生きいきと輝いていたい。年齢には関係なしに、いろいろなことを学んでみたい。そんな生き方、いいですね。今回は、「人生八十年時代に学び続ける喜び」と題して、各方面でご活躍の四人の方にお話を伺いました。

心の満足を自ら求め 人と分かち合う時代



木下 現在、国では学校教育中心の教育から、生涯を通して学ぶ環境づくり、「生涯学習」体系の整備を打ち出しています。

こうした中で、大野市は今年から三年間、国から「生涯学習モデル推進地域」に指定されました。今日は、大野での生涯学習の在り方や課題など、体験を交えながらお話し頂きたいと思っています。

まず最初に、小林さんからお願ひします。小林さんは現在、市の高齢者生きがい促進事業などのリーダーとして活躍中です。かつては校長を務められ、家庭教育問題にも深くかわられました。退職後は市の社会教育指導員をされるなど、豊富な体験をお持ちです。



小林 何もないことをしてきただけではないのですが、私の生き方の原点といえ、私がかつて師範学校に入学した時、父親に言われた言葉じやないかと思ひます。「将来、お前は教育者になるのだから、学校での仕事はやって当たり前だ。さらに、何か人様の間に合うことがあったら進んでそれに参加しろ。そうしてこそ、お前の値打ちがある」ってね。

教員になってからも絶えず同じことを言われたものですから、頭にこびりついて、その後の私の生き方に影響を与えたと思ひます。木下 確かに重みのある言葉ですね。山村さん、あなたは旅館業に携わる一方で、生け花やお茶、短歌など、多彩な趣味をお持ちですね。また、観光ガイドボランティアや古文書を読む会のメンバーでもあり、市民大学にも

■座談会出席者

市民代表	小林一夫さん(67歳・春日3)
	前田裕一さん(40歳・美川町)
	金森澄子さん(62歳・中野)
	山村裕子さん(53歳・泉町)
行政代表	松田光男社会教育課長
司会	木下昭夫社会教育指導員



◀ 9月11日、活発に意見交換を行う出席者の皆さん



顔を出すなど、積極的に人の中へも飛び込んでいらっしやる。何がそうさせたのですかね。

山村 私らが子供のころといえば、ちょうど終戦直後で、勉強したくてもできないという時代だったんです。その反動つ

ていうんでしょうか、今はいろんなことに目を向けるのが楽しくて、好き放題をしているわけなんです。

ただ、私が思うに、自分の楽しみだけを追求するという生き方は、何か寂しい。一人では意欲もだんだん薄れていってしまいますしね。小林さんが言われたように、自分ができることではほかの人にも喜んでもらうということがあれば、元気づけられますし、やりがい

も出てくると思うんです。それに、今は年金とかがあって、老後も経済的な心配はなくなっていますから、皆さんの満足度を求めていると思います。



木下 心の満足、それを分かちあう喜びという点では、金森さん、金森さんは、教職在職中からスポーツ、レクリエーション活動



に取り組まれ、現在は仲間と創作ダンスや演劇に挑戦されていますよね。

金森 確かに「あなたは仕事を辞めてからもいろいろ生きがいがあるってうらやましいわ」って、よく言われます。けれど、毎日の忙しさったら、ほんと、心の中はいつも葛藤状態なんです。でも、体が自然と動いてしまう。私がスポーツやレクリエーションに打ち込むようになったきっかけは、ストレス解消のためだったんです。二十代のころはバレーボールに打ち込み、三十代ではフ

ォークダンスやゲーム、野外キャンプなどの指導や講習を受け、資格も取りました。四十代からは、それまでに得た経験や資格を生かしてあちこちへ出掛けていきました。すると、今までの知識だけでは不十分だ、ってことを痛感したんです。そこでまた、いろんな研修会や講習会に顔を出す。するとまた、いろんな人と出会い、お付き合いが始まるんです。それが楽しみであり、エネルギー源になって、活動を続けられたんだと思います。

山村 忙し過ぎるのも大変ですが、何にもすることがないのは、人生の大変事、ですよ。

木下 人生の大変事、ですか、なるほど。ところで前田さん、あなたも「オアシス教育協会」のリーダーとして、カントリースクールなどユニークな活動をしておられますね。

前田 僕の場合は、

たまたま自分の仕事のほかに好きなものがあるって、たまたまそれが続いているというだけなんです。

というのも、僕が子供のころ、星のきれいな、化石の不思議さ、雲や雪の美しさといったものにすごく感動したんです。やがて、同じような仲間が自分の周りにたくさんいることに気がきました。そこで仲間と呼び掛けて「地球科学研究会」というのをつくり、仲間と活動の幅を広げていったんです。

その後、たまたま青年会議所が始めたカントリースクールの手伝いをする中で、また別の人たちと出会い、それが縁で今の「オアシス教育協会」が生まれたんです。とにかく、十代、二十代という年代は、感性がすばらしい。僕や仲間は自然の姿に感動したということから、じゃ、子供たちと同じ感動を分かち合おうよ、みたいになったわけなんです。

人生の最高の楽しみは 人との出会い、ふれあい

木下 皆さんのお話を伺っていると、活動の分野も違うし、そのきっかけも違う。それに「生涯学習」なんてシャレたことを考えるでもなく、思いおもいに、「これは」ということや楽しいこと、感動したことを続けておられますが、一つ共通しているのは、その感動なり楽しみなりを自分だけのものにしない、周りの人にも広げ、共有していることですね。

小林 始めから人に認められたいとか、喜んでもらいたいとかいう意識はなかったですね。ただ自分が思うこと、好きなことから入って、その仲間が一人増え二人増えして人の輪が広がり、お互いの関係も深まっていくんです。それが後になって振り返ってみると満足感という充実感があるんです。

山村 私は人から誘われて自分だけの趣味から脱却したっていうんです。仲間と学ぶ楽しさを知ったものの一人なんです。いろんな分

野の先輩方との出会いの中で、学ぶ目標、やりがいも得ることができました。

小林 市民大学をお手伝いした経験から言わせて頂くと、「参加してよかった」という人の感想を聞いてみると、話がとてもよかったという人と、なつかしい人に会えてうれしかったという人の二つのタイプがあるんです。

市民大学も、発足当時に比べると今では随分参加者も増え、顔ぶれも変わっています。思うにそれは、参加して感動した人がそれをほかの人に伝える、あるいは、あの人も来てたよ、って誘いかけると、そんな人の輪の広がりが生涯学習の原動力じゃないでしょうか。

前田 人間の最高の楽しみってなんだろう、って考えると、やっぱり人との出会い、ふれあいじゃないでしょうか。

人それぞれに楽しいと思うことはいろいろありますね。けれど、たとえ土星の輪がどんなに美しいものであっても、毎日毎日見ていると飽きてしまいますよね。今の僕は、同じものに興味、楽しみを見つけた連中と、いろんなことを話し合う方が一番楽しいんです。そして、カントリースクールのように、子供たちと、自然の中で肌と肌が触れ合う付き合いをしていきたいと考えています。そういう意味で、さっき金森さんが言われた二十代、三十代、四十代以降の楽しみ、生きがいの移り変りの体験談は、本当に参考になります。

金森 今の交友関係も大事ですけど、ずっと前の、仕事や仕事以外での交友関係が今も続いているっていうことは、本当に幸せですね。

学校・家庭教育は
真の個性を育くむべき

山村 話はちよつと飛びますが、現代は価値観の多様化の時代といわれていますよね。悪

く評価する向きもありますが、私は生涯学習の面ではむしろいいことだと思うのですが。

学校教育では今まで、価値観の単一化を進めてきたと思うんです。だから、落ちこぼれだとか登校拒否だとかいう問題が出てきたんだと思うのですが。

木下 今、山村さんから学校教育の在り方についてご発言がありました。家庭教育もまた、生涯教育の一貫だと考えられるわけですが、その辺、ほかの方はどうお考えですか。

前田 学校での偏差値に象徴されるように今の世の中、価値判断の基準はすべて数字なんです。そんな表面的な評価ばかりされていけば、人間形成にいいはずがない。もっと人をトータルにとらえてほしいですね。

金森 今の子の問題行動って、家庭の在り方にも問題があると思います。というのも、子供専用の部屋に、専用のテレビ、専用の電話を付けてある家庭が増えているそうですが、そんな環境では、家族とさえまともに話し合ったりする機会がなくなってしまうです。

小林　今は、学歴偏重から個性の尊重へと価値観が変わりつつある過渡期だと思うんですが、そうならば、これからの学校教育、特に義務教育の段階では、子供の興味や趣味、特技などを今まで以上に伸ばす努力をしなくちゃならないですね。それと、社会に出てからずっと学ぶ態度を失わないよう「学び方」を学び取らせることも大切です。

私もあまり偉そうなことを言える立場ではないんですが、教職経験者にしろ現役の先生方にしろ、あまり地域の活動に参加していません。それぞれの才能なり能力を、もつと地域に還元してほしいですね。

山村 教職に限らず、現役を退いた人たちは特に、どんどん地域へ出てほしいですね。

大野公民館「細字講座」で

大野公民館「細字講座」で

それと、幼稚園や学校の先生方の責任も重大だと思いますが、家庭自身、さきほど金森さんが言われたように、子供の個性を大切にすること、変な方向に進んでいきます。欲しがるものを欲しがるだけ与えるかと思えば、無理やりピアノや習字などのおけいこごとを押しつけている。親そのものが、子供の本当の個性を理解できていないんです。

小林 今は学校教育、家庭教育の在り方が厳しく問い直されている時代です。画一的な価値観の押しつけや親のエゴを解消しない限り、本当の個性は育たないと思います。

行政は、人・施設・事業の
ネットワークづくりを

木下 今ほど小林さんと山村さんから、退職した人や現役の人にもっと地域へ出てほしいという意見が出されましたが、市民の中には柔軟な考えや行動力を持った人が随分いるはずなんですよね。だから、行政はそういう人



下庄公民館「陶芸教室」で

たちをどんどん発掘してもらいたいですね。さて、我々はずっと今後も大野に住んでいくわけですが、皆さんの今後の抱負や行政への要望などをお聞かせください。

小林 大野にいてよかったな、本当にいいま

ちになったなと、みんなが思うようなまちづくりのお手伝いできたかと考えています。行政にお願いしたいこととしては、三つのネットワークづくりです。一つ目は、施設のネットワーク。集落単位、地域単位、全市単位に、それぞれいろんな種類、規模の施設がありますから、それらを相互に関連付けて、学びの場、出会いの場を充実してほしいですね。二つ目は、高齢者はじめ各世代からいろんな分野の人材を発掘し、人のネットワーク

づくりです。三つ目は、教育的事業のネットワークとでも言いましょうか、現在、市などでは各課単位でいろんな講座や講習会などに取り組んでおられますが、縦割り行政の欠点で、似たような内容のものがバラバラにあるんですよ。今後はもっと横の連携を密にし、中味の濃いものにしてほしいと思います。

山村 観光ガイドボランティアについてなんですけど、この仕事は中途半端な知識ではとても務まらないんです。大野の歴史はもちろん、草花や山の名前、その他もろもろのことまで説明できなければね。

私が思うに、同じボランティアであるなら、子供たちに大野の歴史や自然を語り、学んでもらうという方向へ移っていきたいんです。近所の奥さん方にも語っていききたい。大野のこと、意外と皆さんご存じないんです。

前田 僕らが取り組んできたカントリースクールの場合は行政にはあまり頼らず、自主的に運営してきたんですが、やはり、市民側の自主性、主体性が大事なんです。行政は市民の活動をバックアップするという在り方が望ましいと思います。

また、生涯学習っていうのは間口が広いから、小林さんが言われたように、いろんな分野別に人と施設のネットワークを築けますし、行政との接点も広く深くなる。そうなれば、大野は全国的にもすばらしいまちになると思います。

金森 最近健康ブームということで、生涯スポーツという考えが普及してきましたよね。高齢化社会にあつて、同じ生きるなら健康でいなけりゃ損だ、っていう意識が強くなってきました。いろんなスポーツに挑戦することはもちろん大切ですが、私が今一番強く感じていることは、子供のころから大野の恵まれ

た自然の中で伸び伸びと遊び回ることの大切さなんです。自然っていうのは、既成のスポーツだけでは得られない体験学習の場です。そのためにも、自然を壊さないでほしいですね。**木下** 最後になりましたが、ここで社会教育課長の松田さんから、市の考えなどを伺い、座談会を終わりたいと思います。

“出掛ける公民館”で積極的に地域づくり



松田 生涯学習というの皆さんご存じのように、生まれてから死ぬまでのものですから、家庭、学校、社会と、それぞ

れの役割分担があるわけです。ただ、それらをどう結び付けていくかが問題なんです。

私どもの仕事の関係からいえば、青年からお年寄りまでが対象なんですが、公民館などの各種講座や学級には、皆さん仕事などでお忙しいこともあつて、なかなか寄って頂けないのが実情です。確かに、縦割り行政の欠点で、いろんな講座や講演会が盛りだくさんなんですけど、個々バラバラで一貫性がないから魅力がないんじゃないかなと感じています。

また、公民館にしても、これまで人が来るのを待っていたわけですが、今後はこちらから積極的に各地区に入っていく活動、“出掛ける公民館”を目指していかなければ、小林さんがおっしゃったネットワークづくりもできないと思います。

今日は本当にいろいろと貴重なご意見、ご指摘をたくさん頂き、ありがとうございます。今後とも、なお一層皆さんのお手伝いができるよう努力したいと思います。



シルバー人材センターへの ご用命をお待ちしています

シルバー人材センターとは

「長年の経験と能力を生かして働きたい」というお年寄りのため、昨年五月に発足しました。事務局は有終会館二階にあります。センターは、各家庭や事業所などからお年寄りに合った仕事を受け付け、センターに登録された就業希望会員の中から適切な人を派遣しています。

草刈りから経理事務まで

センターが受け付けている仕事と基本料金は、下の表のとおりです。

仕事の契約は会員個人とではなくセンターと発注者との間で結ばれ、万一、センターが派遣した会員が途中で都合が悪くなったときには、責任を持つてすぐ代わりの会員を派遣することになっています。なお、契約金額は基本料金

に事務手数料七%を加算した額となり、センターへ納めていただきます。

引き続き会員を募集中

センターでは年間を通して会員を募集しています。市内にお住まいで、おおむね六十歳以上の人が対象です。健康で働く意欲があれば、どんなでも会員になれます。年会費として千円が必要です。会員には、働いた分にに応じて配分金(基本料金)が支払われます。

主な仕事と基本料金(配分金)

職種の事例	日 額	時 給
経理事務、自動車運転、校正	4,000~6,000円	500~700円
家屋営繕、大工、左官、塗装	6,000~7,000円	700~900円
庭木のせん定、雪つり、障子張り、機械での芝・草刈り	6,000~7,000円	600~800円
一般事務、伝票・帳簿整理	4,000~5,000円	500~600円
筆 耕	毛 筆 1枚 25円	
	あて名書き ペン 1枚 15円	
	賞 状 書 き 1枚 2,000~3,000円	
施設・駐車場・倉庫の管理、資材・商品の管理	4,000~5,000円	500~600円
店番、配達、集配、検針、パンフレットなどの配布	4,000~5,000円	500~600円
屋外 作業	草刈り、草取り、清掃、引っ越し作業、雑役	4,000~6,000円 500~700円
屋内 作業	清掃、雑役、皿洗い、荷作り、ガラスふき	4,000~5,000円 500~600円
留守番、子守り、家事手伝い	4,000~5,000円	500~600円

●“シルバー”に仕事を依頼したい

会員になって働いてみたい●

そんなとき、気軽にお電話を

☎ 66-0069

社団法人 大野市シルバー人材センター
●大野市天神町1-19(有終会館2階)

暮らしの アドバイザー

秋の深まりとともに毛布を押し入れから出したり、買い直す家庭も多いことと思います。

今月は、毛布の種類と選び方を紹介しましょう。

まず、毛布の種類ですが、作り方から次の三つに大別できます。

1 織り毛布 文字どおり織った毛布で、縦糸と横糸で柄出しができる上、重厚で柔らかい感触があり、最も基本的なものです。

2 タフト毛布 薄い織物の基布にタフティング・マシンという機械を使って起毛したものです。ふっつき柔らかで軽く、価格も手ごろです。

3 マイヤー毛布 カールマイヤーという縦編み機で、主に超細番手のアクリル長繊維を使って編み、二枚合わせに仕上げたものです。光沢のあるミント調の仕上げや、毛玉のできにくい毛刈り加工が施されて、高級感のある暖かい毛布です。

毛布の種類と選ぶコツ 取扱方法と寸法に注意

毛布は、言うまでもなく保温性が第一条件です。毛とアクリルでは保温性の差はありませんが、厚みがあつてかさ高く、弾力性に優れているもののほど保温性が良いとされています。

最近出回っている綿毛布は、吸湿性がよく暖かで、肌触りも柔らかいです。

また、洗濯機で丸洗いもでき、一年中使える長所があります。

いずれにしても、同じ素材の毛布を選ぶときは、手触りで確かめましょう。購入の際は取扱表示と寸法表示を確かめてください。特に、メーカーによって寸法に違いがありますので、注意が必要です。標準は幅が一・四

メートル、長さ二メートルです。

■お知らせ

市消費者相談センターでは次のとおり定例消費生活相談コーナーを開設しています。
とき 毎月第2水曜日、午前10時~午後3時
ところ リブレ3階
内容 消費生活に関する苦情や相談の受け付けと対応

一般会計 9月補正 10億2千万円余りを追加

道路・橋の整備、産業振興に重点

九月定例市議会が九月十四日から二十五日まで開かれ、「平成元年度一般会計補正予算案」「大野市の休日」を定める条例案(第二・四土曜閉庁条例案)、「昭和六十三年度大野市歳入歳出決算認定について」など十五議案を審議、いずれも二十五日の本会議で可決・承認されました。

一般会計補正予算では、歳入・歳出にそれぞれ十億二千四百四十四万三千円を追加、総額で百二十一億四千二十万一千円となりました。歳出の主な内訳をご紹介します。

総務費

▼「ふくいスノーフェスティバル(来年二月十日・十二

日に六呂師で開催)」「負担金…五百万円
▼「ふるさと創生基金」積立…八千万円

民生費

▼社会福祉法人「希望園」重度棟改築工事補助…三百三十九万四千円
▼寝たきり老人短期保護(シヨート・ステイ)事業費追加…三百十八万円

農林水産業費

▼大野市産業フェア開催費の追加…百六十五万円
▼農業後継者青年と女性のつどい「ふれあい大集会」開催費…二百万円
▼集落共同作業所新設工事補助(森政領家・上五条方)…九百万円
▼輪作営農用農業機械などの整備補助(土打・菖蒲池・

金追加…六千万円(融資枠三億五千万円に拡大)

土木費

▼水以外による屋根融雪促進補助(モデル家屋十五戸)…九百万円
▼市道改良・舗装(延長分。用地費・移転補償費など含む)…一億一千七百六十二万円
▼若生子大橋改修・上ヶ野橋改良など…九千八百六十万円
▼河川改良事業…二千七百四十三万円
▼児童公園新設(春日東公園・東中公園)…二千百万円

商工費

▼商店街景観整備事業調査費(七間商店街)…三百七十五万円
▼繊維産業フロンティア企業育成事業補助(大野燃糸工業協同組合)…百五十万円
▼企業体質改善特別資金預託

教育費

▼学校教育備品整備(蔵生小・下庄小の校舎・体育館改築に伴う備品その他)…一千六百二十八万円

●市役所も来年1月から隔週土曜閉庁になります

執務をしないことになります。

市役所本庁など市の機関を原則として第二・第四土曜日に閉庁するための「大野市の休日」を定める条例案「など四つの関連議案が、原案どおり可決されました。
土曜閉庁は来年一月から実施する計画で、毎月第二・第四土曜日は日曜日と同じように

県最低賃金改定
日額3千808円、時給476円

県内の事業所で働くすべての労働者と使用者に適用される県最低賃金は、十月一日以降、日額三八〇八円、時間給額四七六円となります。

これにより、県内の事業所の使用者は、臨時・パート・アルバイト、年齢・性別を問わず雇用するすべての労働者に対して、改定後の最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

なお、この最低賃金の中には、次の諸手当・賃金は含まれません。

- 手当関係：精皆勤手当・通勤手当・家族手当
- 賃金関係：臨時に支払われる賃金・一カ月を超える期間ごとに支払われる賃金・時間外労働の賃金・休日労働の賃金・深夜労働に対する割増賃金

＊ ＊ ＊

食料品・飲料・飼料製造業など九産業で働く労働者については、前記「県最低賃金」とは別に、それぞれの産業における最低賃金が決められ、適用されます。ご注意ください。詳しくは大野労働基準監督署(☎66・3838)へお尋ねください。

9月定例市議会

9/1 県防災総合訓練

フォト
ニュース



▲「意識はあるか!」「出血は?」—日赤看護班は機敏に負傷者介護



◀県トラック協会による緊急物資輸送



大型台風による集中豪雨と震度6の大地震などを想定した福井県防災総合訓練が九月一日、シヨッピンゲンセンター「リブレ」と真名川富田大橋周辺で行われました。訓練には大野地区消防組合や陸上・航空自衛隊、日赤福井県支部など防災関係三十八機関をはじめ地元町内会や小・中学生など約六千人が参加、それぞれの持ち場で本番さながらにテキパキと任務を果たしました。

地震や集中豪雨などを想定し
本番さながら約6千人が奮闘

▼消防団は汗だくで土のう積み



▲道路と橋は生命線。陸上自衛隊は「浮橋」構築



▼「量販店で火災発生」—従業員の誘導で避難



▼消防レスキュー隊による負傷者救出作業



▼市連合婦人会・日赤奉仕団の炊き出し

“本当”に備えて訓練を反省

有終東小6年 米村沙織さん



先生から「ひな訓練の時は、絶対に歯を見せないように」と言われていました。

教頭先生の放送がはいり、みんながひなしました。私は「絶対に歯を見せてはいけないんだ」と思いながらちゃんとしていたのに、なぜか歯を見せてしまいました。

もし、本当に地震が起きたら、こんなことではきつと、死んでしまうと思います。地震は、いつ、どんなときに起こるかわかりません。だから、防災訓練はしんけんにして、本当に起こったときにはおちついて行動し、自分の命を守らなければいけないと思います。

今度の訓練はとても役に立ってよかったです。今度の悪かったところを直し、実際のときにはスムーズにひなができると思います。

市民総ぐるみでする訓練を

月見町区長 長谷川 栄さん



「防災の日」にふさわしい訓練だったと思います。

リブレでの避難訓練に参加して、感じたことを二、三申しあげますと、今回の訓練の会場が場所的・地形的に条件がよく、整然と行われましたが、今後は住宅・商店の密集地や道路が狭いなど条件の悪いところでの訓練も必要と思いました。

消防器での訓練では、初めて消火器を使った人が多く、実際自分でやってみて、平素の訓練の大切さが分かったと言っていました。

大野市では、最近大きな火災や災害もなく、従って市民の防災意識も低いと思っています。訓練は日曜日に行うなどして多くの市民が参加できるようにしていただくことと、防災に対する行政と市民の役割分担を明確にして取り組み、一層効果も上がると思います。

平穏な今こそ日々の備えを

大野赤十字奉仕団 北山はまるさん



私たちは、自衛隊の協力も得て非常食の炊き出し訓練をしました。

おにぎりを千食余り、そして袋入りご飯を二百食余り作りました。これらの非常食は、訓練参加者の昼食として利用されますので、精いっぱいおいしく作って差し上げたいと、緊張した気持ちで作業を進めました。

あとで他の訓練を見学し

春日三丁目上区壮年会

を催しています。そこで壮年会も、この行事を盛り上げようと、今年から積極的に町内の盆踊り大会に参加すること

三十人が購入。女性や子供たち中心の盆踊り大会が、今年
は会の参加で一層盛り上がり
ました。その余勢をかって、
六間へも繰り出したというわ
けです。町づくり運動への壮
年層の参加は頼もしいですね。

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。

連絡先 市役所総務課
広報広聴係（天神町一
66-1111）

【今月のスナップ】



Young
Corner



大野の“魅力”を築こう

岡田 高たか大おさん(30歳・七板)



若い人
がどんど
ん市外へ
流出して

これは大野のまちに魅力がないからではないでしょうか。私の言う「魅力」とは、目先の魅力ではなく、大野の可能性・将来性のことです。今の大野には確固とした将来像が欠けていると思います。例えば、「リゾート法」ができたかば、というて、あわててリゾート開発に走るという主体性のなさ、そのあらわれです。

私が思うに、大野を魅力あるまちにするには、土地柄を踏まえ、青年をはじめ各世代が抱く「あるべき大野」を語り合い、官・民共同で短期・中期・長期のまちづくり計画に取り組むことだと思います。



この地
球上に、
生き物の
住む世界
に人とし

目指すまちの姿が明らかに
なれば、おのずと具体的実現
の手段・方法が決まるもので
す。既成観念や浮いた話にと
らわれず、しっかりと大野の「魅
力」を築くことが、何より大
切だと思っています。

上村 裕美さん（26歳・塚原）

もし、私がアリとしてこの世に生を受けたのならば、きっと当たり前のように巣をつくり、懸命にえさを巢に運び冬支度をしていることでしょう。だったら、人として生まれた私も、それが当たり前のように、地域の行事に参加し、一人でも多くの人と知り合い、一人でも多くの人の役に立ち、一人でも多くの人の役に立ち、喜ぶ姿を見ていたい。その喜びが、私の喜びになるのだから……。

人として生まれたのなら、素直に生きていきたい。そして、私というものを時間をかけていろんな角度から見つめ、見つけていきたいと思います。

Q

「今年も来たな」。
双眼鏡の中にオ
ルリの姿を見、す

てきなさえずりを聞きながら
独り言。大野の豊かな樹林相
だからこそ、四季折々の鳥に
巡り会えるのだなと思ってい
ます。けれど、鳥の姿、声を
求めて山々に入るたびに悲し
くなるのは、人間の力の象徴
のような機械が山深く入り、
無抵抗な自然を破壊していく
光景に出合うことです。

豊かな樹林相は豊かな生物
相を育て、豊かな天然ダムの

私もひとこく

役割をしています。自然は、
人間の全知全能を傾けてもつ
くり出せないほど素晴らしい
バランスでつくり上げられて
います。今リゾート開発が計
画されていますが、自然は一
度破壊したら、再びもとに戻
すことは困難です。豊かな恵
みを与えてくれる自然。この
自然を後世に残していく努力
と工夫が大切だと思います。

(南新在家・坪内和夫)

豊かな自然を後世に残して

A

わが奥越地域は、
その約三十五%が
国立自然公園や県
立自然公園に指定され、広大
な高原、緑豊かな森林など自
然の宝庫といえます。

このような自然条件を生か
して、山や森は木材の生産の
みならず、スキー、登山とし
て山村文化の体験などに利用
されています。しかしこれら
の既存施設の規模や整備状況

を見た場合、当地域特有の豊
かな自然資源や地理的条件が
十分に活用されているとはい
えない状況にあり、今後一層
の利用が待たれています。こ
のような中で、今リゾート開
発や観光開発がさげばれてい
るわけです。

したがって、開発にあたり
ては、自然環境の保全、良好
な景観や快適性の保持、さら
には、秩序ある土地利用に対
する配慮が最も重要な要件と
考えております。地域の特性
や自然を生かした独自のもの
つまり「人と地域と自然を生
かした開発」を基本理念とし
た施策を講じたいと思ってい
ます。

(企画開発課長・松田次男)

私もひとこく 投稿のお願い

市政についての質問や
意見など、日ごろ皆さん
が考えていることを八ガ
字でお寄せください。紙
上匿名は自由ですが、必
ず住所・氏名・年齢・電
話番号をお書きください。
原文を一部要約すること
もあります。

あて先 市役所総務課広
報広報係(〒912 大野市
天神町一―一)

お知らせ

●福祉ボランティア基金 郷土諸家有志作品頒布会

市社会福祉協議会では、市
に在住またはゆかりのある画
家、書道家、工芸家などの協
力を得て作品頒布会を開きま
す。

収益金は、福祉ボランティ
ア活動を推進する基金となり
ます。皆さんのご協力をお願
いします。

とき 11月2日①～5日②午
前10時～午後4時

ところ 有終会館本館中会議
室

内容 美術諸家有志から寄贈
された絵画・書道・彫刻・
工芸・陶器などの作品約50
点を入札方式で販売

問合せ 市社会福祉協議会(有
終会館内 ☎65・8773)

●来年度の市民会館利用 今月20日から予約受付

市民会館では、平成2年1
月5日から12月27日までの利
用申し込みを、10月20日①か
ら受け付けます。

申し込みは直接、市民会館
へお越しください。電話での
申し込みはできませんので、
ご了承ください。

こんばんは

マラソン出場100回を達成した

深草 深英さん(58歳・春日)

深草さんは、九月十日に
武生の日野山で開かれた福
井登山マラソンに出場しま

したが、この日の出場で、
マラソン大会出場百回の記
録を達成しました。登山マ
ラソンは、県山岳連盟の主
催で、標高七百九十四日の
日野山へふもとから駆け登
るもの(標高差七百二十、
距離三・二キロ)で、深草さ
んのタイムは四十七分十三
秒でした。

深草さんが初めてマラソ
ン大会に出たのは、昭和五
十七年秋に勝山で開かれた
第二回奥越マラソンでした。
それより二年前、昭和五十

五年に始まった町内会主催
の早朝五十日マラソンに参
加したのがきっかけで、毎
日走り続けている仲間と初
めて出場しました。それ以
来、少しずつ数を増やし、
昨年は年間二十二回も出場
しました。県内では年間二
十七～八回開かれているそ
うですが、日が重なるもの
があるため、これ以上の出
場は無理だそうです。

深草さんは、「健康のため
に、今後も走り続けます。
これからは県外や海外へも
出て、当面三百回出場を目
指したいですね」とますま
す元気なところを見せてい
ました。

食欲の秋、あなたの胃腸は大丈夫？

あなたの胃腸は、お酒やコーヒーの飲み過ぎ、油っこい物の食べ過ぎで弱ってはいませんか。生まれつき胃腸の弱い人と丈夫な人とがいますが、何かとストレスの多いこの時代、胃腸の病気は増える傾向にあります。さて、季節は食欲の秋。今月は胃腸のいたわり方を紹介します。

● 刺激物を避け腹七分目

胃腸も他の器官と同様、年をとるにつれて働きが悪くなります。これは、胃の粘膜が萎縮し、胃液の分泌が減ったり酸度が落ちたりするためです。胃の働きが悪ければ当然腸にも無理がかかるわけで、

高齢の人は自覚して胃腸をいたわる必要があります。お酒やたばこ、香辛料、コーヒーなどの刺激物は、胃腸のいろいろな病気の原因になります。胃弱の人や胃腸の調子が悪いときは、刺激物を避けるとともに「腹七分目」を心掛けましょう。

● 油料理や脂肪は控えて

胃腸に負担のかからない食べ物として、次のものがあげられます。

- ① 穀類・いも類…柔らかめのご飯やうどん、パン、ジャガイモなど
- ② 肉類・豆類…白身魚、さしみ、とりのささみ、豆腐、納豆など
- ③ 乳類・卵類…牛乳、ヨーグルト、鶏卵など

④ 野菜・果物・海草類

油を使った料理や脂肪が多い物は胃に留まる時間が長く、もたれやすいので、控えめにしましょう。また、ゆっくりよくかんで食べると、胃の負担を軽くしますから、歯が悪い人は早く治療しましょう。

● ストレスに敏感な胃腸

胃腸は精神的なストレス（刺激）に弱い器官です。不安感や緊張、怒り、あせりなど精神面での負担は、胃腸の動きや消化液の分泌、血行などに悪い影響を与え、炎症や潰瘍を引き起こします。

現代社会では精神的なストレスから免れることは不可能ですが、仕事上のストレスぐらゐは趣味や娯楽などで発散し、同時に定期的に検診を受けることが大切です。

● 保健センターで胃がん検診

保健センターでは次の日程で胃がん検診を行います。対象となる人で当日申し込まれた人は、お忘れなく。
 とき 10月31日④、11月1日⑤・2日⑥・10日⑤、いずれも午前8時30分から11時まで
 手数料 500円
 来年度も地区巡回検診を行います。どうぞご利用ください。



皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター(☎65-7333)

■あなたの身近に話題がありましたら市役所総務課広報広聴係（☎66-1111）へご連絡ください。

ユーモラスな語りに『民話の世界』を再発見

今年最初の芸術劇場『沼田曜一・民話の世界』が9月10日、市民会館で開かれ、沼田さんのユーモラスな語り口に、訪れた市民は民話の魅力に引き込まれていました。

11月18日(土)には、バリ「木の十字架少年合唱団」を迎え、2回目の芸術劇場を予定しています。



自然保護センター建設中 来年7月にはオープン

今年7月に着工した自然保護センターと観察棟の新設工事が順調に進んでいます。両施設は、南六呂師の「奥越青少年の森」の隣です。今年11月中には本体工事を終え、来年7月に完成する予定です。両施設の概要については、『広報おおの』7月号2～3ページをご覧ください。



話題のひろば



**憩いの場「明治公園」完成
軽運動や散策にもっていい**

南部第二土地区画整理事業地区内で造成していた「明治公園」がほぼ完成しました。同公園は約一・六畝の広さがあり、芝生の多目的広場やゲートボール場、遊具コーナーがあるほか、東屋風の休憩所、トイレも設けられ、木瓜川沿いには遊歩道もつけられています。



**婦人劇団「たんぼ」公演
郷土色豊かな童話劇を披露**

九月十七日、今年三回目のことも劇場が市民会館で開かれ、市内の婦人で行く劇団「たんぼ」による『おおののはなさかじいさん』などの童話劇に、チビっ子は大喜びでした。次回ことも劇場は、十一月二十六日(日)、劇団「チャップス」の公演を予定しています。

読みどく

●ジェームス三木講演会

大野青年会議所では、NHK大河ドラマ『独眼竜政宗』（昭和62年放送）などの脚本家として活躍中のジェームス三木さんを招き、講演会を開きます。入場無料。

とき 10月10日(土)午後7時開場
～8時30分

ところ 市民会館大ホール
演題 『ドラマと人間』

●市民ウォークラリー大会

主催 市教育委員会
とき 10月29日(日)午前8時30分
～小雨決行、雨天中止
コース リブレ前～寺町方面
対象 小学生以上の市民(3年生以下は保護者同伴で)

部門 ▼小・中学生の部 ▼一般の部

持ち物 水筒・弁当・筆記用具

雨具・タオル・ゴミ袋など

参加費 10円(傷害保険料)

申込方法 市教委体育課(市役所内)・各公民館に申込書がありますので、必要事項を記入して体育課へ。電話(☎66-1111内線532)でも受け付けます。

申込締切 10月20日(金)

お知らせ

10月



共同基金運動
(10月1日～12月31日)

●市業務職員の採用試験

平成2年4月採用予定の大野市業務職員の採用試験を次のとおり行います。

採用予定人数 ▼用務員…1人 ▼機械操作手…1人 ▼葬

受験資格 ▼用務員・機械操作手…昭和39年4月2日から同47年4月1日までに生まれた人 ▼葬員…昭和34年4月2日から同47年4月1日までに生まれた人

※学歴・性別・免許不問

試験日程 ▼第1次試験(中学校卒業程度の一般教養試験と作文試験)…11月19日

⑨午前9時から市役所で第2次試験(第1次試験合格者対象。口述試験と身体検査)…12月中旬予定

受験申込期間 11月1日(※)～11日(※)

申込方法 市役所総務課人事係(☎66・1111内線223)にある申込書に必要事項を記入し、顔写真を張

●市民大学(国際教養コース) 無料公開講座

つて同係へ。

とき・テーマ ▼10月25日(※) 午後7時職業訓練センターで「ネバールの生活を振り返って」(講師…元海外青年協力隊員・武生高校教諭 沢崎孝也氏) ▼11月13日(※) 午後7時有終会館307号室…「私の見た日本」(講師…IBアメリカンクラブ・ディレクターモーリス・スプリチャル氏)

問合先 市教育委員会社会教育課(☎66・1111内線542)

●市総合文化祭作品募集

第23回市総合文化祭が11月3日から5日まで、市民会館と有終会館を会場に開かれますが、ただ今、展示部門の一般作品を募集しています。

部門 絵画・書道・工芸・写真・余技作品など

規格・点数 自由

作品搬入 11月1日(※)午後1時～5時に有終会館へ直接

問合先 市教育委員会社会教育課文化係(☎66・1111内線542)

●防火フェスティバル

主催 大野地区防火推進委員会・同地区消防組合

とき 10月22日(※)午後1時～5時

ところ 有終会館

内容 ミニ消防車試乗・ロープ渡過救助体験・初期消火体験・119番通報体験・新旧消防資機材と消防自動車展示など

来場者には抽選ですてきな景品を進呈します。

●美濃街道歴史散歩 参加者募集

主催 大野青年会議所

とき 10月22日(※)午前9時までにAコープ大野店(水落町)前に集合

コース 水落～本町～七間～五番～横町(以上徒歩)～春日～榎～木本～森山(以上バス)～若生子峠～若生子

または森山スキー場(徒歩)～水落(バス)午後3時着

対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)

参加費 800円

持ち物 昼食・飲み物・雨具

大野保健所健康教室 『ぼけ予防の秘訣』参加者募集

大野保健所では、ぼけ予防のための健康教室の参加者を募集しています。

3回シリーズで、日程・内容は下記のとおりです。いずれも会場は大野保健所で、時間は午後1時30分から3時30分までです。1回だけの参加もできますが、なるべく通して参加してください。

申し込みは同保健所保健予防課(☎66・2076)へお早めに。

回	とき	内容	講師
1	10月17日(火)	・映画「家族の時代」 ・講演「健康長寿への挑戦」	元県看護係長 藤田しづ子氏
2	11月2日(木)	・講演「老いの心を知る」 ・福祉制度について	福井医科大学 松原六郎医師
3	11月16日(木)	・講演「介護の秘訣」 ・ぼけ予防のためのレクリエーション	精神保健センター 中島勝子専門員 市体育指導員 金森澄子氏

など。山道を歩くので服装に注意

申込先 大野青年会議所(☎66・1233 有終会館内) 申込締切 10月16日(※)

●恩給欠格者および戦後強制抑留中に死亡された人の遺族に慰労品

今回新たに、戦後、ソ連・モンゴルで強制抑留中に死亡された人の遺族に対し、慰労品(書状・銀杯)が贈られることになりました。

また、「恩給欠格者」のうち 問合・相談先 ▼全国戦後強制抑留補償要求推進協大野

外地などに勤務し、加算年を含め在職期間が3年以上の人にも慰労品が贈られます。

慰労品の贈呈は請求に基づいて行うことになっていますので、該当する人は平成5年3月31日までに次の所へ請求書(市福祉事務所福祉係にあり)を提出してください。

提出先 〒112東京都文京区大塚5-3-13 平和祈念事業特別基金業務第2課(☎03・945・4703)

南部第二地区の保留地を処分 入札参加者を募集します

市では、南部第二土地区画整理事業地区内の保留地（明細下表）を競争入札により処分しますが、これに先立ち、入札の申し込みを受け付けます。

処分対象保留地 下記8筆

受付期間 10月11日⑥～25日⑥

午後4時まで

入札日時 10月26日⑥午前9時

入札場所 市役所3階大会議室

申込方法 市役所3階都市計画課に備えてある申込書に必要事項を記入の上、入札保証金を添えて同課へ提出

街区番号	仮地番	面積(㎡)	入札保証金(円)	用途地域
19	2	515.75	700,000	第2種住居専用地域
19	13	515.75	700,000	第2種住居専用地域
19	14	375.00	400,000	第2種住居専用地域
20	5	252.35	300,000	第2種住居専用地域
24	14	295.55	300,000	準工業地域
24	15	315.10	400,000	準工業地域
57	3	457.50	500,000	準工業地域
64	9	435.50	500,000	準工業地域

●国民年金の掛金 納め忘れていませんか

国民年金の保険料は、毎月月末までにその月の分を納めていただくことになってます。保険料を滞納すると、その期間に応じて年金が減額されたり、支給資格がなくなつたりします。ただし、事情があつて今年4月以降の分が未納になっている人でも、その分を来年4月までに納めれば、将来、不利益にはなりません。保険料は、今年4月以降来

年3月までは月額8000円、来年4月以降は同8400円（付加年金の場合は、いずれも400円増し）です。国民年金についての問い合わせ・相談は、市役所市民課年金係（☎66・1111内線455）へどうぞ。

●役所への苦情・要望は 行政相談委員へ

国や県、市などの役所に対して苦情や要望はありませんか。「言いたいことがあるが、直接役所へ行きにくい」、「どの役所のどの課へ行けばいいのかわからない」という人は、行政相談委員にご相談ください。電話や手紙でも結構です。

大野地区行政相談委員 ▼吉田とみ子（本町3-1-1 ☎66・3261）▼三宅嵩（天神町7-4 ☎65・0584）

定例行政相談 ▼とき：毎週木曜日午後1時30分～4時

移動県政相談 ▼とき：10月12日⑥午後1時30分～4時

▼とき：有終会館

●奥越産業フェア

とき 10月21日④・22日⑧午前10時～午後5時

ところ 奥越地域地場産業振

市民のうごき

（前月比）

世帯数	11,294世帯	（+6）
人口	42,423人	（-24）
男	20,355人	（-16）
女	22,068人	（-8）
転入	59人	出生 33人
転出	76人	死亡 40人
平成元年9月1日現在		

興センター（勝山市片瀬町・「越前大仏」前）

内容 ▼21・22日：伝統工芸実演・地場産品展示即売・飲食コーナーなど ▼22日：ファッションショー（午後1時30分～2時30分）・浜美枝トークショー（午後3時～4時）など

●耳鼻科の更生相談

身体障害者の方などを対象に耳鼻科更生相談を行います。とき 10月27日④午後1時～3時

ところ 市保健センター

内容 障害者手帳の有無に関係なく県立病院の医師が診察と相談に応じます。補聴器の点検・修理も行います。費用 無料。ただし、補聴器の修理は実費

問合先 市福祉事務所福祉係

●防犯運動で犯罪のない 明るいまちづくり

今年も10月11日から20日まで、全国で一斉に防犯運動が繰り広げられます。

特に本県では、①自転車盗・侵入盗などの防止②少年非行の防止③悪質商法による被害の未然防止、を重点的に行います。

市民の皆さんも、それぞれの家庭や職場で、この防犯運

市内の交通事故状況

件数	内容	平成元年8月末	63年8月末	増減
総件数		258	249	+9
人身事故	件数	121	116	+5
	死者	2	7	-5
	傷者	165	142	+23
物損事故		137	133	+4

●保健所で「育児学級」

大野保健所では、今月から「育児学級」を開設します。生後1～2カ月のころは、お母さんにいろいろな育児不安が出てくる時期ですが、その不安にこたえるための相談・指導の場となります。お気軽にお越しください。

対象 生後1～2カ月児を持つお母さん

とき 原則として毎月第4木曜日、午前10時～11時30分

ところ 大野保健所

内容 身長・体重測定、講話、悩み相談など

問合・申込先 大野保健所保健指導係（☎66・2076）

ふらふらと散歩

「こころみに浮世そそがん苔清水」
これは篠座神社境内にあり、文化八年に建てられました。

「清瀧や波にちりこむ 青松葉」

これは清瀧神社境内にあります。裏面に、「三十日坊連 慶應四戊辰年五月 美濃 麦菰 一併拝写」と刻まれています。十時行雄宮司の話では、毎月三十日に句会を開いた俳句仲間が清瀧神

の跡に心を動かされ、芭蕉の句から採って刻んだと思われます。

芭蕉は、山中温泉を後にして松岡で一泊し、永平寺を訪ね福井市の等義宅に二泊したあと、鯖江・武生から湯尾峠を越えて敦賀に入りました。(T)

139 芭蕉句碑

江戸時代の俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」の旅をして昨年で三百年目ということで、東北・北陸ではそれにちなんだ行事が催されています。芭蕉は九月下旬本県を通り、八日間滞在して数々の名句を残しています。

芭蕉の句碑は全国で二千余基あるといわれています。三国の本多柳芳さんは、県内で句碑・文学塚など三十七基を確認しています。そのうち大野には三つの句碑があります。

社や清瀧川にかけて、この句を選んで句碑を建てたようです。大野の俳諧・連歌は美濃の影響を受け、交流の盛んだったことを示しています。

「西東 あはれはおなじ秋の風」

これは北御門の城腰寺境内にあり、友兼の豪農だった広瀬明が寄進したと伝えられています。彼は文学に長じ、城山に秘められた数百年前の栄枯盛衰

▼篠座神社の句碑



▲清瀧神社の句碑

お知らせ

●三大朝市物産まつり

七間朝市振興協議会では、岐阜県高山市と北海道三石町の協力を得て、次のとおり朝市・物産市まつりを開催します。旬の味覚が盛りだくさん用意されます。ぜひ、お出掛けください。

とき ▼夕市：10月28日①
午後4時～8時 ▼朝市：10月29日②午前7時～正午
ところ 七間通り（本町・五番町）

内容 地元七間朝市の秋野菜をはじめ高山のみたらしダンゴ・ほうばミソ・飛騨リンゴなど、三石からは塩ザケ・コンブ・干物などが勢ぞろいします。



編集後記

●四年ぶりに人間ドックに入ったら、即その日から要治療。五十年間も使い続けている体だけに、悪いところが一つや二つあるのが当然と思う一方、いざ指摘されるとやはりショック。今月は健康強調月間。そして10日からは四十歳からの健康

週間も始まる。お互い「ころばぬ先のつえを」。(平) ●今月号の特集「生涯学習座談会」で、出席者の体験談や抱負をじっくり伺うことができ、本当に刺激になりました。日本人は働き過ぎるのか、働かされ過ぎるのか、心のゆとり「の在り方」を問い直すことが、今後地域や「国際化」を考える前提では、と思いました。(清)



早朝、薄明かりの山道をトットと下りてくる男の人に出会った。食事仕事も付き合ひもマイベイスで自分の生活のリズムをかたくなに守り、晴雨雪にかかわらず十余年間休みなく亀山へ登っているそう。張りのある声、すくくと伸びた背筋、弾力ある歩き方は、七十九歳という年齢とは思えない元気に満ちている。

えっちらおっちら登る私は、みるみるうちに何人かに追い越される。十数人に混じって体操をする。だいたい色に光る雲も眼下の街並みも美しく、有象無象が吹っ飛んで気分爽快▼山を駆け上り駆け下りる人、柔軟体操をこなす人など、年齢を越えてみんな若々しくさわやかである。「山へ登らなかつた日は体がぎくしやくする」「登らないと忘れ物をしたようで、一日のスタートが狂う」「スリムめざして」など、登る目当ては人様々である▼十数年間のキャリアを持つご夫婦は、「人との競争ではなくてマイペースで登るのがコツ」と言われた。「終戦の年から登り始めた。わしが草分けじやろ」という八十五歳のおじいちゃんの確かな足取りを支えているのは、たくましい根性ではないだろうか▼人生八十年代を迎え、みんなが健康で生き長らえることを願っている。健康食品・健康運動具等も出回り、各種スポーツが盛んだ。十日には健康ウォークも行われる。「老化の始まりは足から」なんて吹き飛ばし、樹々のトンネルをくぐり、心身をリフレッシュするのも最高であろう。(H)